

『ぐっと身近に 京滋 SDGs プロジェクト ～みんなで知って取り組む一歩を～』

SDGs 推進を目的に京都新聞・京都市・亀岡市・大津市が連携し
学生や地域企業・団体等による参加型プロジェクトを始動
6月20日(月)、旧三井家下鴨別邸にて共同発表会を開催

京都・滋賀 SDGs プロジェクト実行委員会は、京都府内、滋賀県内における SDGs の推進を目的とした共同プロジェクト「ぐっと身近に 京滋 SDGs プロジェクト ～みんなで知って取り組む一歩を～」(以下、京滋 SDGs プロジェクト)の発足にあたり、2022年6月20日(月)、旧三井家下鴨別邸にて共同発表会を開催します。

ご多用中恐れ入りますが、何卒ご取材、ご来臨賜りますようお願い申し上げます。



【京滋 SDGs プロジェクトについて】

本プロジェクトは、国連サミットで採択された持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向け、京都府内、滋賀県内における SDGs の浸透を目的に、京都新聞・京都市・亀岡市・大津市の三市をはじめ、各自治体の学生や地元企業・団体などが参加して行われるプロジェクトです。これまでの SDGs の取り組みを加速させる絶好の機会とされている大阪・関西万博までの4年間、各ステークホルダーと連携し、SDGs の理解を深める機会の提供、そして実際に各目標における課題解決に取り組めます。

■ 取り組み内容について

2022年の6月からSDGsの各目標に対し、SDGsの知識を深める『SDGsトークセッション』、実際に課題解決や目標達成に向け行動を起こす『SDGsアクション』の2つのプログラムを実施します。

『SDGsトークセッション』では、オリンピックで、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟の理事でもある「小林祐梨子」氏をメインMCに、地元NPO法人や環境保全団体の理事など、各目標に先駆的に取り組まれている地元有識者や、京都府、滋賀県内の学校に通う学生、また事務局からは、地元で多数の取材経験を持つ京都新聞記者などが出演し、京都府、滋賀県のローカルな視点に立ち、SDGsを通じた地球の未来について考えます。なお『SDGsトークセッション』は、本プロジェクトのオフィシャルサイトやYouTubeチャンネル「京都新聞TV」で公開します。世界的な取り組みであるSDGsを身近に感じてもらえるよう、地元地域に寄り添った内容でお届けしますので是非、ご視聴ください。

『SDGsアクション』では、『SDGsトークセッション』と連動したプログラムを実施します。動画配信と前後し、SDGs17の目標達成、課題解決に向け、SDGsに触れる機会、地域に還元する機会を設けます。こちらは、本プロジェクトのオフィシャルサイト、並びに京都新聞紙面にて事後報告いたしますので是非、こちらもご覧ください。

※京滋SDGsプロジェクト オフィシャルサイト：<https://sdgs.kyoto-np.jp/> (6月20日オープン予定)

※京都新聞TV：<https://www.youtube.com/channel/UCL-oSpNUjTb1Fr1lHr5tNeA>

■各市・各位よりコメント

・京都市からのコメント

SDGsの推進には、多様な主体が互いの知恵を持ち寄り、日々の活動を通して、目標達成に向けて行動していくとともに、2050年CO2ゼロの目標をも見据え、経済の活性化、市民の暮らしの豊かさ、ひいてはレジリエントな都市の実現、持続可能な成長につなげていくことが何よりも重要です。今回、地元メディアを代表する京都新聞、京都の歴史上、深い関わりをもつ亀岡市、大津市と連携し、京都・滋賀で新しい流れを生み出す京滋SDGsプロジェクトが、学生、企業、団体など多くの市民の皆様と一緒に多くの実践につなげ、2030年SDGsの達成へと大きく前進させることを期待しています。

・亀岡市からのコメント

近年は気候変動や海洋プラスチック汚染といった一地域では解決できない地球規模の課題が生じており、多様な主体が連携することが求められております。国からSDGs未来都市として選定を受けた本市においても、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指すなど、SDGs達成のため様々な事業に取り組んでおります。この度、ご縁を頂きました京都新聞をはじめ、京都市や大津市とともにパートナーシップをはかることで、京都・滋賀地域の多様な方々とSDGsの知識を共有し、気づきを促して参りたいと考えています。本プロジェクトの取組みが起点となり、新たな潮流が生まれることを期待するとともに、更なるSDGsの達成に向けた取組みを進めて参ります。

・大津市からのコメント

大津市では、令和4年3月に「大津市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、市役所庁舎の電力の再生エネルギーへの切り替えなどの施策を推進するとともに、環境問題に取り組む機運の醸成、取組の担い手となる人材の育成など、脱炭素社会の実現に向け、積極的に取り組んでいます。このプロジェクトを通じ、学生、企業、各種団体の皆さんと行政との取組の輪が広がり、大津市が目指す「SDGsの推進」や「カーボンニュートラル」の実現に向けた取組が、京都市、亀岡市、大津市という歴史・観光など、繋がり深い地域から発信され、SDGsの理念の普及と実践が、さらに広く展開されることを期待しています。

・小林祐梨子氏からのコメント

プロジェクトの総合司会を務める小林祐梨子です。今回、主に SDGs トークセッションの司会を担当させていただきます。現役を引退し約7年が経ち、二児の母となり奮闘する毎日を過ごしています。先日、パラのイベントでダウン症の子どもたちと触れ合う機会があり、イベントの最後にカバンとメダルをプレゼントしてもらいました。それは新聞で作られたカバンと寄付で集められたメダルを再生したものでした。最近、SDGs という言葉を耳にする中で、深く考えさせてもらった出来事でした。この度は身近で何が起こっているのか知るきっかけを頂けたこと、とても嬉しく思います。出演者の皆様とのトークを通じ、一歩前進したいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

■**第一回 SDGs トークセッションについて（共同発表会場でも公開）**

↳テーマ：パートナーシップで目標を達成しよう

MC：小林祐梨子 出演者：沖大幹 SDG 企業戦略フォーラム座長ほか。

※第二回以降の内容は現在調整中。

【第一回 SDGs アクション「共同発表」開催概要】

↳テーマ：パートナーシップで目標を達成しよう

主催：京都・滋賀 SDGs プロジェクト実行委員会
(事務局／京都新聞 COM)

日時：2022年6月20日(月) 13時00分～14時00分 (受付開始／12時40分～)

場所：旧三井家下鴨別邸 2階座敷 (京都府京都市左京区下鴨宮河町 58 番地 2)

出席者：司会 / 小林祐梨子様 (オリンピック、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟理事)
出席者 / 門川大作 京都市長
出席者 / 桂川孝裕 亀岡市長
出席者 / 佐藤健司 大津市長
出席者 / 大西祐資 京都新聞社代表取締役社長

実施詳細：京滋 SDGs プロジェクトのご紹介
大西祐資 京都新聞社代表取締役社長 挨拶
門川大作 京都市長 挨拶
桂川孝裕 亀岡市長 挨拶
佐藤健司 大津市長 挨拶
※公務によりビデオレターなど変更の可能性があります。
質疑応答
フォトセッション (予定)



【旧三井家下鴨別邸について】

下鴨神社の南に位置する豪商・三井家の旧別邸。三井家 11 家の共有の別邸として三井北家（総領家）第 10 代として、大正期までに整えられた大規模別邸の屋敷構えが良好に保存されており、近代和風建築として価値の高いことから、平成 23 年（2011）に重要文化財に指定されました。

参照：京都観光 Navi「旧三井家下鴨別邸について」

【お申込み方法】

ご出席いただける場合は、6月16日(木)までに、貴社名、所属部署名、当日のご連絡先、ご出席者氏名を添え下記アドレスまでメールにてお申し込みをお願い致します。

[お申し込み先メールアドレス／keiji-sdgs@shintsu.co.jp](mailto:keiji-sdgs@shintsu.co.jp)

【本リリースの問い合わせ先】

PR 担当：辻田（つじた） 會田（あいだ）

電話：075-211-4476

E メール： keiji-sdgs@shintsu.co.jp